

事業所名

デイグループぱーく

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

23 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの気持ちを大切に、個性を尊重し、自分を表現できるよう援助し支援する。						
支援方針		家でも学校でもない場所で、「やりたい」を大切に共感共有し、それぞれの興味や一人ひとりに沿った働きかけをする。自主性を伸ばす。 <音楽遊び>として音楽療法士による「音楽療法」、<運動遊び>として演劇関係者による「動き」、<創作活動>として美術指導者による「創作」の療育を行う。						
営業時間		平日	13 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		長期休暇 振替休校日等	12 時	30 分から	18 時	30 分まで		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所時の手洗い、うがいの習慣づけ。手洗い利用時、おやつを食べる前の手洗いの習慣づけ等、日常生活動作等を指導する。 衣服の調整や、着替えなど、出来るよう働きかける。						
	運動・感覚	トランポリン、運動マットなど運動用具を気軽に利用出来るよう整備しており、利用を支援する。近隣のウォーキングも積極的に行う。 公園などにも積極的に出かけ、ブランコなど遊具で遊ぶ楽しさを支援する。 <音楽遊び> <運動遊び> <創作活動>の時間を設け、楽しみながら感覚を養う。 折り紙、お手玉、けん玉、など<昔遊び>を取り入れ、手先を使う感覚を養う。						
	認知・行動	<遊び>特に、ボードゲーム等を通して、他や物の見方等を認識する力を付ける。 他の子の「表現」を見て感じ、認め合うことを学ぶ。						
	言語 コミュニケーション	「遊び」や「音楽療法」「動き」「創作」の療育を通して、コミュニケーションを学び、「自分の気持ち」「自分のやりたい事」を言えるように働きかける。 絵本の読み聞かせを通して、言語を学ぶ。 「人生ゲーム」などのボードゲームを通して、いろいろな言葉を学ぶ。						
	人間関係 社会性	ゲーム等<遊び>や<運動>を通して、ルールなど集団生活適応訓練を行う。 「動き」「音楽療法」の療育を通して、協調性を育てる。						
家族支援		「卒業を祝う会」等、兄弟も参加できる行事を開催する。 面談時など悩みを聞き、情報を提供する。			移行支援		面談時に卒業後の進路等の情報を提供する。	
地域支援・地域連携		地域との関係を大切に、祭りなど協力する。 冬、路面凍結時には、近隣の道路に凍結防止剤を市からもらい撒くなど、地域整備にも協力する。又、落ち葉掃きなど、清掃作業を行っている。			職員の質の向上		毎月のスタッフミーティング等で、研修を行う。 「障害児放課後グループ連絡会東京」などの外部の研修に参加する。 支援に役立つ、専門書を用意し、職員に貸し出す。	
主な行事等		卒業を祝う会を法人全体で行うほか、七夕まつり、夏まつり、ハロウィン、クリスマス会等、季節の行事を開催する。 夏休みなどに、東大和市郷土博物館、立川防災館、多摩六都科学館、南極北極科学館、野山北公園など、外出をする。						